

G★U★M★B★O

「新年の挨拶」（記者：谷野社長）

皆さま、コロナの感染が増減を繰り返す中、その大きな変化を受け入れ、乗り切ろうとしているのではないかと思います。どのようにお過ごしでしょうか。昨年はアフターコロナ・ウイズコロナの状況も2年目となり、新たな生活様式が確立された年となりました。

我が社もその影響から「オンライン化」「リモートワーク」と様々な仕事の流れが確立されました。その流れはこの状況から想像するに元に戻ることはなく、スタンダードになっていくのではないかと思います。渡航を中止していたS/V派遣も、コロナの感染状況が落ち着いたため再開の指示を致しました。不安な状況にもかかわらず、皆様方のご理解のもとご対応頂き、心から感謝申し上げます。ただ残念なことに派遣メンバーから陽性者が出てしまいました。今後のSV派遣の判断基準を見直してまいります。それ以外にも「創立20周年」の節目の年であり、いろいろと思い出すだけでも、感慨もひとしおの一年でした。

昨年は次の10年の節目を目指して新たなスタートを切りました。創業の地、飯田町から10年目にこの東三方の地に工場移転、そして更に次の世代のための加工工場の拡張工事を行い、次の節目の30年を目指します。

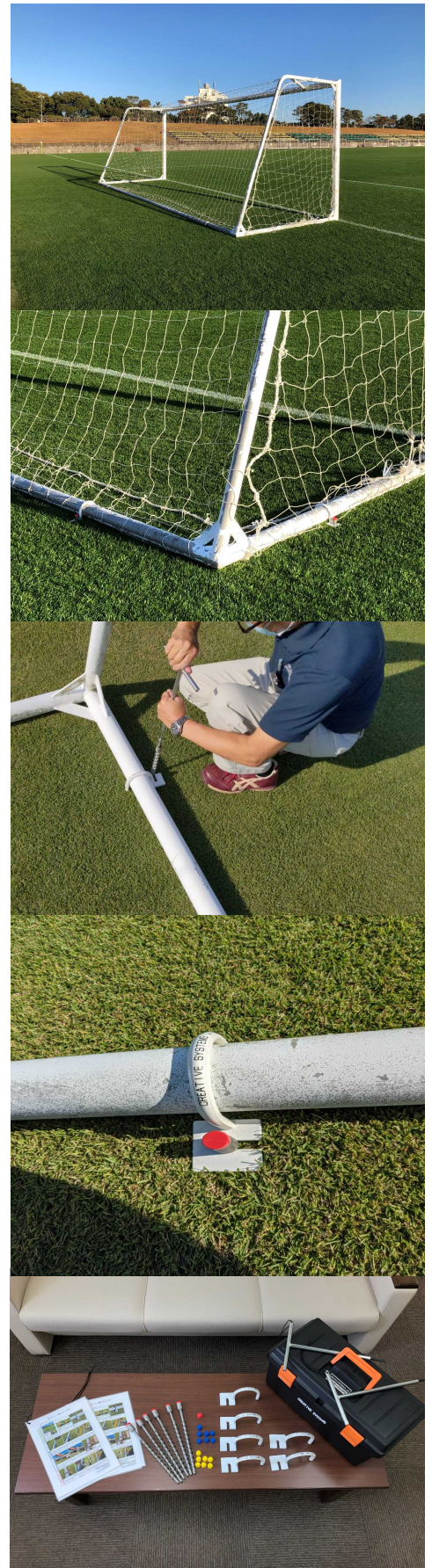
クリエイティブ・システムのこの一年ですが、すでに受注済みのシンダーヘッドラインのS/V派遣業務、海外と国内の設備など、すでにスタート時点で大型案件の受注が決まっております。他にも引き合い案件としては大型プロジェクトが目白押しで期待が出来る年となりそうです。ただし、ここ最近の半導体不足の混乱、影響により設備に組み込む部品の入手が出来ず、今後の生産計画が立て難くなっております。心配な状況ではありますが、今までのスパンではなく、現状に則したリードタイムによる計画立案に舵を切ります。

また、昨年は、かねてから開発を進めていたグラウンドポインター(目印):Gスクリューの特許出願、商標登録出願が済み、各地のグラウンドでのテストを行い、実際のゲームに使用するところまで進みました。今年は販売開始にこぎ着ける予定でいます。パーツフィーダに次ぐ自社商品としてBtoCで販売を進めてまいります。

今年も昨年同様に忙しい一年となります。コロナ感染防止対策・体調管理には十分に注意して乗り切りましょう！！

本年も引き続き、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 谷野秀樹



FORTNITE「フォートナイト」(記者:山内係長)

フォートナイトとは2017年に米Epic Gamesがリリースしたオンラインゲームです。WindowsPC、PS4/5、Xbox、Switchといった幅広いプラットフォームで展開されており、その異なったプラットフォーム間での協力、対戦プレイに対応しているサード・パーソン・シューティングゲーム(TPS)です。日本では任天堂Switchでリリースされたことと、コロナ過という状況もありプレイヤー層が小学生にまで急速に拡大しました。私の家庭でも小学5年生の息子と夫婦2人の3人でゲームを楽しんでいます。

米製のゲームというと過激な演出(血が出たり、身体が吹き飛んだり)といったものを想像する方もいると思いますが、このゲームに関してはそういった演出は全くありません。但し、重火器で対象を撃つという特性と、全く知らない人とボイスチャットを通じて気軽にコミュニケーションをとることができる等を考慮し対象年齢が15歳以上となっています。ゲームだけが子供とのコミュニケーションではもちろんありませんが、一緒に共通の遊びをするのは非常に面白いです。自分の子供と友達のように、または兄弟のように一緒に遊べる時間は非常に有意義だと感じます。興味がある方は是非お試しください。



ゴールデンジョイスティックアワード(記者:桑原係長)

2021年11月23日にイギリスでゲームの表彰式典【ゴールデンジョイスティックアワード】が開催されました。このゲームアワードは1983年から続く歴史あるもので、現在までに39回開催されています。このゲームアワードは、その年の優れたゲームを表彰するもので、一般投票によって決められます。この栄誉ある賞を、フロム・ソフトウェアの【ダークソウル】が受賞しました。投票した層に偏りがあるような気がしますが… 記者としてはとても喜ばしいことです。

【ダークソウル】は2011年9月22日にPS3で発売されたゲームで、記者の人生に大きな影響を与えた作品です。ジャンルはアクションRPGで、いわゆる【死にゲー】という高難易度のゲームです。このゲームの魅力として、高難易度ならではの達成感、オープンワールドによる自由度の高さ、失敗から学ぶといった哲学的な面もあります。また、オンライン対戦や協力プレイもあり、やりこみ要素の多い作品となっています。

興味がある方はぜひプレイしてみてください。



自己紹介(記者:近藤)

昨年11月に入社しました近藤と申します。

事務経験は色々しましたが、購買業務は全くの初心者で、基本からつまずいており、日々奮闘しています。まずは専門用語の入った皆さんの会話を半分以上聞き取れることが短期的な目標です。

1日も早く戦力となれるよう精一杯努力いたします。プライベートでは、2人の女の子(6歳と3歳)の母です。趣味はアロマセラピー、気功、麻雀です。少し競馬も楽しめます。浜松市出身ですが、東京や千葉、埼玉に合計14年ほど住んでいました。内気ですが一方オープンな性格ですので、何でも話し掛けて頂けるととても嬉しいです。これからどうぞよろしくお願いいたします。